



# 琵琶湖にまつわるエトセトラ

# MMI

monthly other lake

プロガイド・おくむらさとしが琵琶湖の釣果情報、必須ルアーそして旬の話題などなど、気になる情報満載で毎月お届けします。これさえ読めば、琵琶湖でポーズの心配はナシ！ぜひご一読を。

おくむらさとし=報告



## 今月のひまわり

8月上旬、ようやく長い長い梅雨が明けました。ですが、まだまだ本格的な「夏」のような暑さにはほど遠く、ガイド中についていってしま「暑い」という意味の言葉が「アチー」から「アチー」には変化しない日々でございます。そんなワケで今年の夏の琵琶湖南湖、例年と違うことがチラホラと起こっております。

そんなチラホラの1つが「跳ね系ラバ」が効かないです。跳ね系ラバ、通称「跳ねラバ」。夏が近づくとつれてボディウオーターの絡むウイードフラットでその効果を発揮し、ここ2、3年でメジャーになったメソッドですが、今年は昨年までのような結果が出ていないのです。跳ねラバ好きにとっては、悲しい夏になっているワケですね。その原因をボク的に勝手に推測す

跳ねラバが効かない、今年の夏。長引いた梅雨と尋常なプレッシャーが、その要因のようです。そこで試みている新たな釣りが「跳ねジャコ」。めちゃ釣れ中ですよ！



ると「梅雨が延びた」ことが1つの要因になっていると感じます。というの、長引く梅雨の影響で今年の南湖の水温はなかなか上昇しなかったのです。雨が降って涼しいってこともありますが、度重なる雨で増水し、南郷洗い堰の水門を全開に近い形で開ける機会が多く、北湖からの水が多量に流入したのも水温上昇を妨げたのでしようね。

## 前言撤回！ PEラインを使う!! この夏は跳ねジャコで決まり!

さらに言うなら、プレッシャーの増大もその原因の1つだと考えます。毎年その傾向が強くなるのですが、ここ最近の琵琶湖南湖は、訪れるアングラの数が急増し、その急増したアングラが、同じ発信元からの情報によって、同じ場所で行う同じことを同じタイミングで行うようになります。尋常じゃないプレッシャーが加わっているのだと思います。ですので、どんなに素晴らしいパターンでも、情報を発信すると、その週末にはそのパターンは完全に終わりを迎える、なんてことが起きています。

そういつたワケで、現在ほくのガイドでは跳ねラバ・パターンを捨て、新たな釣りを試みています。それが「跳ねジャコ」です。邪道・ジャコビーの2・6gジグヘッドリグを跳ねラバ同様に大きく跳ね上げさせ、その後フォールやステイでバイトを待つのですが、跳ねラバや他のライトリグと決定的に違うのが「PEライン」を使用することです。以前「ボクのガイドでPEラインは不要です」って言ったことがあるのですが、この「跳ねジャコ」だけはどうしても必要なので、前言撤回いたしました。スマミセン…



跳ねジャコに限っては、PEラインを使います。理由は跳ねさせやすいことと、ラインブレイクがほぼないこと。詳しくはまたの機会に、ゆっくり話しますよ！

## これからの時期のオススメは「J」 B' FREEZE GP-100が発売!!



いよいよ発売になりました！邪道×ラッキーラフトの「B'FREEZE GP-100」♪「TYPE-J」と「TYPE-R」を状況によって使い分けてくださいね。これからの時期ならジャキングモデルの「TYPE-J」がスーパーオススメですよ。ってことで、時期GPシリーズ、「サミー GP-100」のテストが最終段階に入ってきました。これまたコダワリがいっぱい詰まっていますので、ロールアウトを楽しみにお待ちくださいね！